別紙様式２号

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
Ⅰ　産地競争力の強化を目的とする取組用

（岩手県　令和元年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 計画時（平成24年）	1年後（平成26年）	2年後（平成27年）	3年後（平成28年）	4年後（平成29年）	5年後（平成30年）	6年後（令和元年）	目標値（令和元年）	達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 計画時（平成24年）	1年後（平成26年）	2年後（平成27年）	3年後（平成28年）	4年後（平成29年）	5年後（平成30年）	6年後（令和元年）	目標値（令和元年）	達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円） 交付金	都道府県費	市町村費	その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
洋野町	株式会社久慈平岳牧場	乳用牛	(R1) 年間 9,620kg/頭	年間 8,746 kg/頭	年間 8,820 kg/頭 (H26.11～26.12実績から推計)	年間 9,674 kg/頭	年間 11,248 kg/頭	年間 11,210 kg/頭	年間 11,759 kg/頭	年間 12,484 kg/頭	年間 9,620 kg/頭	427.7%	年間乳量12,484kg/頭となり、計画時から1.4倍増加した。	乳用牛	100kgの生乳生産労働時間 0.72時間 (年間労働時間 55,000h／年間生乳生産量 7,696,000kg×100kg)	100kgの生乳生産労働時間 1.4時間 (年間労働時間 43,200h／年間生乳生産量 3,097,232kg×100kg)	100kgの生乳生産労働時間 1.0時間 (年間労働時間 38,400h／年間生乳生産量 3,748,146kg×100kg)	100kgの生乳生産労働時間 0.73時間 (年間労働時間 47,424h／年間生乳生産量 6,472,668kg×100kg)	100kgの生乳生産労働時間 0.74時間 (年間労働時間 52,416h／年間生乳生産量 7,098,126kg×100kg)	100kgの生乳生産労働時間 0.74時間 (年間労働時間 52,416h／年間生乳生産量 7,082,686kg×100kg)	100kgの生乳生産労働時間 0.7時間 (年間労働時間 49,920h／年間生乳生産量 7,175,919kg×100kg)	100kgの生乳生産労働時間 0.74時間 (年間労働時間 52,416h／年間生乳生産量 7,087,258kg×100kg)	100kgの生乳生産労働時間 0.72時間 (年間労働時間 55,000h／年間生乳生産量 7,696,000kg×100kg)	97.1%	100kgの生乳生産労働時間0.74時間となり現状から47%削減した。	・牛舎 ・搾乳舎 ・排水処理施設 ・堆肥舎	1,109,484,000	510,315,000	0	0	599,169,000	平成26年10月17日	1頭あたりの年間搾乳量について、改善策の効果があり目標値を達成することができた。 生産労働時間について、ロータリーパーラーの導入により短縮できたが、週休二日制の導入等を目指し、目標を若干下回った。	1頭あたり乳量については、順調に増加し、目標を大きく上回る成果となっているが、生産労働時間については、目標を下回っていることから、農業改良普及センターと連携し、引き続き、作業動線の改善など生産性の向上・効率化を指導していく。	

都道府県平均達成率	98.6%	総合所見	（株）久慈平岳牧場は、1頭当たりの年間搾乳量が大幅に改善し、目標を大きく達成することができた。また、100kgの生乳生産労働時間についても計画時の約半分になり概ね目標を達成し、地域酪農産業を牽引している。

別紙様式２号

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
Ⅰ　産地競争力の強化を目的とする取組用（緊急対策分：平成28年台風被災施設整備等対策）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①：計画時（平成27年）	1年後（平成29年）	2年後（平成30年）	3年後（令和元年）	4年後（平成○年）	5年後（平成○年）	6年後（平成○年）	目標値（令和元年）	達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②：計画時（平成△年）	1年後（平成□年）	2年後（平成◇年）	3年後（平成○年）	4年後（平成○年）	5年後（平成○年）	6年後（平成○年）	目標値（平成○年）	達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）：交付金	都道府県費	市町村費	その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
岩泉町	岩泉町乳業再編協議会	牛乳乳製品	牛乳・乳製品の出荷	3,650 t	1,382 t	2,942 t	3,050 t				4,499 t	-70.7%	出荷量は年々増加しているものの目標の68%となった。													乳業施設の再整備 ①既存施設解体・撤去 ②乳業工場整備 ③大型貯乳施設整備	2,910,212,820	1,347,458,000	0	1,347,459,620	215,295,200	平成29年11月30日	工場再開により、酪農家の生産意欲向上と雇用の場の確保に繋がった。	成果目標は達成できていないが、台風被災後に減少した牛乳・乳製品出荷量は回復傾向にある。 今後は、新製品の開発や宅配による県外販売の取組強化を行うこととしており、販路拡大により一層注力する必要がある。	
岩泉町	新岩手農業協同組合	水稲	被災前の生産量以上に回復	603.4t	376.8t	477.3t	584.7t				609.6t	-301.6%	生産量は年々増加しているものの目標の96%となった。													共同育苗施設の再整備 ①土砂撤去・被災設備撤去 ②設備の再整備 （育苗機4台、温水発芽機1台、簡易水槽2台、播種プラント一式、ポンプ設備一式　等）	12,981,600	6,010,000	0	0	6,971,600	平成29年7月5日	台風第19号による被災等により一部圃場で収穫ができない等の状況があり目標最終年度は前年比122.5%の伸びとなったものの、目標値に対しては95.9%の実績となった。 令和２年度は、関係機関・団体の連携により、引き続き生産安定、単収向上に向けた指導会を開催し、収量の確保に努める。	令和元年の台風第19号の影響を受け、収穫できなかったほ場もあったが、目標値に対し95.9%の生産量となり目標達成できなかった。しかし、計画初年度から順調に生産量は増加しているとともに、令和２年度は水田基盤事業の完了により作付面積が約50ha拡大することから、生産量も増加するため、目標の達成が期待される。	

都道府県平均達成率	0.0%	総合所見	岩泉町乳業再編協議会及び新岩手農業協同組合は、平成28年の台風10号の災害を受け、復旧・復興すべく事業を導入したところであるが、目標達成に至らなかった。新岩手農業協同組合については、令和元年の台風19号の被害を受けたことが未達の要因となっているが、令和２年は、生産面積が拡大することから達成できる見込みである。一方岩泉乳業再編協議会については、製品出荷量が回復傾向にあるものの取引先の回復に至っておらずさらなる販路拡大に注力する必要がある。